

# 8 形容詞

## 練習1 基本事項の学習(P.32・33)

### 1 解答

⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
美し	恋し	憎し	悪し	悪し	強し	嬉し	基本形
美 <sup>うつく</sup> し	恋 <sup>こひ</sup> し	憎 <sup>にく</sup> し	悪 <sup>わる</sup> し	悪 <sup>わる</sup> し	強 <sup>つよ</sup> し	嬉 <sup>うれ</sup> し	語幹
しから	しから	から	から	しから	から	しから	未然形
しかり	しかり	かり	かり	しかり	かり	しかり	連用形
し	し	し	し	し	し	し	終止形
しがる	しがる	きる	きる	しがる	きる	しがる	連体形
しけれ	しけれ	けれ	けれ	しけれ	けれ	しけれ	已然形
しかれ	しかれ	かれ	かれ	しかれ	かれ	しかれ	命令形
シク活用	シク活用	ク活用	ク活用	シク活用	ク活用	シク活用	活用の種類

### 2 現代語訳

- 立派だと見る人が、案外つまらなく感じられる本性が見えるのは、残念なことであろう。
- その道に心得があるということを見せようとしたのだろうか、聞き苦しかった。
- 初心者には、二本の矢を持つてはならない。
- 見たくもないことだ。
- さあ、かぐや姫、(こんな)穢い所に、どうして永くいらっしやるのだろうか。

- 風が吹いて波が荒いので、船を出さない。

### 解答

- ①口惜し・連体形    ②かたはらいたし・連用形  
 ③なし・命令形    ④ゆかし・未然形    ⑤穢し・連体形  
 ⑥久し・連用形    ⑦荒し・已然形

### 解説

補助活用(カリ活用)は、主に助動詞に続いていく際に用いられる活用形です。補助活用は次のようにして成立したものです。  
 ・ク活用の場合    ーく+あり→ーしかり  
 ・シク活用の場合    ーしく+あり→ーしかり  
 右のような経緯で成立したため、補助活用(カリ活用)はラ変動詞と同じような活用をします。

### 3 現代語訳

- 若くてまあまあの男が、召使いの女の名を呼び慣れているふうに呼ぶのは、にくらしい。
- 長生きをすると必ず恥をかくことが多い。たとえ長くても、四十歳に満たないくらいで死ぬのが、見苦しくないであろう。
- 大藏卿ほど耳が鋭い人はいない。
- 屋根の様子も高く、ひと気のない感じだが、何というわけもなく興味深く感じられる。
- 格別変わった様子もなかったことだ。

### 解答

- ①よろし・シク活用・連体形

- 1 動詞①
- 2 動詞②
- 3 動詞③
- 4 動詞④
- 5 動詞⑤
- 6 動詞⑥
- 7 ファイドバック
- 8 形容詞
- 9 形容動詞
- 10 ファイドバック
- 11 総合①
- 12 総合②
- 13 総合③

## 練習2 反復学習で確認(P.34)

### 1 現代語訳

- 例 苦しいこともなくなってしまう。  
 (1) 人(五人の貴公子たち)の愛情は、同程度であるようだ。  
 (2) ああすばらしいことよ。  
 (3) 世の中は無常であることこそすばらしいのだ。  
 (4) 僧侶はどうらやましくないものはあるまい。  
 (5) 無用の行動は、つまらないことだなあ。

### 解答

- A ひとしかん    B めでた  
 C いみじけれ    D うらやましから    E よしなかり

### 解説

A 連体形で撥音便になるのはカリ活用のほうです。Eは助動詞に続いてるので補助活用(カリ活用)の連用形です。

### 2 現代語訳

- (人間として)この世に生まれたからには、願わしく思うはずのことが多いようだ。
- (玉鬘は)気づまりでつらいことだと思いいになった。

- ②にくし・ク活用・已然形    ③長し・ク活用・已然形  
 ④多し・ク活用・終止形    ⑤めやすし・ク活用・連体形  
 ⑥とし・ク活用・連体形    ⑦なし・ク活用・終止形  
 ⑧高し・ク活用・連用形ウ音便    ⑨け遠し・ク活用・已然形  
 ⑩をかし・シク活用・連用形ウ音便    ⑪なし・ク活用・連用形

- たいそう幼いので、籠に入れて育てる。
  - 千余日の間に、尽力したことは、少なくない。
  - 杯をほかの人に与える時の様子は、ひどくにくらしいと見える。
- 解答
- ②・願はし・シク活用・連体形  
 ③・多し・ク活用・連体形撥音便撥音無表記  
 ⑤・苦し・シク活用・連体形イ音便  
 ⑦・をさなし・ク活用・已然形    ⑪・すくなし・ク活用・未然形  
 ⑬・いみじ・シク活用・連用形ウ音便    ⑭・にくし・ク活用・終止形

### 解説

形容詞以外の語について説明します。

- 1 行下二段活用動詞「生まる」連用形
- 4 力行下二段活用動詞「うちとく」未然形
- 6 力行下二段活用動詞「おぼす」の連用形イ音便
- 8 力行下二段活用動詞「入る」連用形
- 9 八行四段活用動詞「やしなふ」終止形
- 10 力行四段活用動詞「尽くす」連用形
- 12 力行下二段活用動詞「取らす」連体形

## 練習3 文章問題で定着(P.35)

### 現代語訳

桐の木の花が、紫色に咲いているのは、やはり興味があるもので、葉の広がり方がいやに大仰であるけれども、他の木々と同列に論ずべきではない。中国では大げさな名前がついた鳥(鳳凰)が、選んでこの木にだけ棲むというのは、たいそう格別な思いがする。まして(桐を使って)琴